

第 73 回広島県公共工事入札監視委員会議事録（概要）

開 催 日	令和 3 年 6 月 7 日（月）14 時 00 分から 16 時 00 分まで
場 所	広島県庁北館 5 階 収用委員会室
出 席 委 員	河合委員（委員長）、内田委員、折本委員、鳥谷部委員、松本委員
議 題	(1) 入札及び契約手続の運用状況等の報告について (2) 抽出事案について ①広島県立広島叡智学園中学校・高等学校男子寮（HM3）新築工事 【営繕課】 ②二級河川高野川水系 高野川 河川災害復旧工事（H30年災第5118号・第5119号） 【西部建設事務所呉支所】 ③二級河川 蛇道川水系 蛇道川 河川災害復旧工事（平成30年災害第2185号）その1 【西部建設事務所東広島支所】 ④スタッフ入退館システム（南棟自動ドア）配線工事 【県立広島病院】
審議対象期間	令和 3 年 1 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
審議・報告内容	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	いずれの審議案件とも適正であると認められました。
担 当 部 署	広島県土木建築局建設産業課 入札制度グループ T E L 082-513-3821（ダイヤルイン）

報告内容

議題 (1) 入札及び契約手続の運用状況等の報告について

- 入札方式別の発注工事件数は次のとおりである。

入札方式	件数
一般競争入札	119件
指名競争入札	90件
随意契約	106件
合計	315件

- 指名除外措置を行った件数は10件
 ○ 低入札価格調査を行った件数は3件
 ○ 入札契約過程に係る苦情申立て、入札談合情報、入札契約事務に係る働きかけ等は該当なし。

意見・質問

回答

- 随意契約としたものについて、広島県立障害者リハビリテーションセンター周辺のマンホール修繕工事の理由に、蒸気配管の経年腐食が激しいためとあり、これはある程度少しずつ分かってくるものと思うので、計画的に工事することが適当であると思うが、なぜ緊急という整理なのか。

- 福山港ふ頭用地造成工事について、随契理由が入札に付することが不利な場合となっている。不利というのはどのことを言っているのか。

- 福山港荷役機械改造工事と国際拠点港湾広島港海田地区荷役機械修繕工事について、同じような作業をするものと思うが、理由が緊急性を要するものと、性質・目的に適さないものに分かれており、違いを説明していただきたい。

- 最近はできるだけ施設を長寿命化させようということで、日常の施設点検結果を踏まえて、早めに修繕対策を講じるというような取組をしている。

この案件も、管理者のほうでしかるべき施設点検や調査をしているものと考えられるが、例えば腐食が激しいということを、どのタイミングで把握しているか分からないが、結果として水漏れが発生しているという状況が確認されたということで、緊急的な対応が必要になり、結果、緊急随契という対応を講じなければならなくなったと考えている。

- 国直轄の工事との関係で、工期短縮が図れるということ、安全対策の確保や、結果として工事費用の一部削減にもつながるということで、そういった現場条件を踏まえた中で、総合的に随契とすることが望ましいという判断をしたのではないかと思う。

- 福山港荷役機械改造工事は、国と県との連携によって一体整備する工事で、機械の供用開始を考慮すると緊急的な改良機材を製作する必要があり、通常の方法ではなく随意契約でないと供用開始に間に合わないので、緊急性を鑑みたものと捉えている。

国際拠点港湾広島港海田地区荷役機械修繕工事には、機械の特殊性から、精通した者でなければ技術的な対応が困難ということで、既存の施設の修繕工事については特殊性を鑑み当該業者を選択せざるを得ないという理由により、こ

○ 一般競争入札で1者応札が多いように思われるが、入札制度上いかななものか。例えば発注時期を分散させるような工夫ができないのか。期末に集中させて、取りあえず1者でなんとか応札してもらっているように見受けられる。 ○ 1つの会社が複数の工事を受注されている。ある程度規模のある会社だと思うが、これだけ工事を抱え込まれると、結局工事の遅延という可能性も出てくると思われる。 ○ 不落がまだ結構あるのか。	の方法を採ったものと考えている。 ○ 今回は令和3年1月から3月の間の発注工事を対象としているが、やはり平成30年7月豪雨災害の復旧工事がずっと続いており、設計できたものから順次発注していつている。なかなか応札していただけないという状況の中、安全性を考えるとより早く工事をスタートさせて完成させることが重要であり、とにかく今は発注できるものは発注し、願わくば応札していただきたいというスタンスである。 ○ 工期を定めているので、必ずしも遅延にはならない。手が空いたら工事着手できる着手日選択型という制度もあるので、発注者側も上手く運用させてもらいながら、早期の工事完了を目指し業務を進めさせていただいている。 災害復旧工事がある程度完成していけば、この状況は変わってくるのではないかと思う。 ○ 今年度に入っても、まだ不調不落が出ており、例年に比べてかなりまだたくさんの現場が動いているという状況がある。技術者や労働者の方がそちらに詰められているので、受注環境がまだ厳しい状況にあるのかなと見ている。 【建設産業課長／技術管理担当監】
--	---

審議内容	
議題 (2) 抽出事案について	
抽出事案1 広島県立広島叡智学園中学校・高等学校男子寮(HM3)新築工事	
意見・質問	回答
○ 男子寮の他に女子寮の工事があり、一遍に施工したほうが能率的ではないかと思われる。	○ 営繕課における建築工事は、基本的に分離分割発注を基本に、棟別で発注している。理由としては、地域の企業に対する受注機会を多く確保するためであり、それによって円滑で効率的な施工が期待できる。 全く分離分割で発注しないのかと言われれば、そこは個別に判断する必要がある、例えば工事区域が近接し、一体で発注しないと安全管理が困難である場合には一括で発注することもあるかもしれない。 今回は配置図のとおり場所が離れており、それぞれ同時進行で動かしたとしても支障がないと判断したので、分離分割の原則を優先した。 【営繕課耐震工事担当監】

議題 (2) 抽出事案について	
抽出事案 2 二級河川高野川水系 高野川 河川災害復旧工事 (H30年災第5118号・第5119号)	
意見・質問	回答
○ 他に同様の場所で同様の工事があり、同じ業者が落札している。なぜ分けて発注したのか。	○ 災害復旧工事は、入札の不調不落を防止して円滑な工事執行を図るため、その工事に係る主任技術者等の兼務制限が緩和されている。請負対象設計金額が税込みで3,500万円未満かつ同一市町内の工事は、1人の技術者が何件でも兼務することができる。 今回の事案である第5118号と第5119号を合わせた工事は、設計金額が3,091万1,100円であり、指摘のあった第5120号の工事は、設計金額が2,742万3,000円である。この3カ所合わせて1つの工事として発注すると、設計金額が5,833万4,100円となり、3,500万円を超える。 指名の範囲として安浦町・川尻町内のB・Cランクの6業者を指名したが、これらの業者は非常に小規模で、抱える技術者の数も少ない。もう既にほかの災害復旧や市発注の工事を受注している中で、3,500万円を超える工事とした場合、技術者の兼務制限の関係で技術者を出せない業者が出てくるのが十分考えられた。そういったことから受注機会の確保を図るため、この3カ所の工事を別の工事として発注した。
○ 落札率が100%であるのが気になる。	○ 被災箇所が点在している工事であり、現場状況が非常に悪いので、施工するための仮設に手間がかかるということから、利益率が悪い工事である。推測であるが、今回受注された者は、指名している中では会社規模が大きく、地域の実情に精通されており、他の業者の手持ち工事の状況などもある程度は知っておられたのではないかと。応札してくる業者が少ないことを見越して、利益率を少しでも確保するために100%応札されたのではないと思う。
○ 落札者の工事費内訳書において内訳額と設計額が全く一緒なのはなぜか。	○ 直接工事費が1円単位まで合っているのは、もう既に過去いろいろな工事を発注しており、その官積算の内訳書も公表しているので、特段、特殊な工事がない限りは、その歩掛かりや単価を業者も知っていることと思われる。それで積算すれば、直接工事費が合うことが十分考えられる。

【西部建設事務所呉支所長】

議題 (2) 抽出事案について	
抽出事案3 二級河川 蛇道川水系 蛇道川 河川災害復旧工事（平成30年災害第2185号）その1	
意見・質問	回答
○ 応札者を増やせないのか。 ○ 辞退かどうかの確認はどのようにしているのか。	○ 東広島支所管内は、不調不落がかなり多い状況が続いている。 しかし、一応、東広島市内の平成30年災害関連の工事は、今年6月中には全て受注していただける予定である。 ○ 電子入札なので、実際に入札がないことをもって、辞退されたという整理をしている。 【建設産業課長／西部建設事務所東広島支所長】

議題 (2) 抽出事案について	
抽出事案4 スタッフ入退館システム（南棟自動ドア）配線工事	
意見・質問	回答
○ 医師用のハンズフリーユニットと職員のカードリーダーの違いは。	○ 職員用のカードリーダーは、機械にある程度近づけて離すと開けるものであり、ハンズフリーユニットは、ある程度離れていても出入りができる。
○ 全員ハンズフリーにするのは、費用がかかり過ぎるのか。医師のスムーズな入退室を考えたら、高額でもやむを得ないということか。	○ はい。 また、職員の出退勤や時間外の管理は総務事務システムで処理できるようになっているが、医師は別で管理しており、ハンズフリーでは同時に駆け込んでも、それぞれの入った時間が分かるようになっている。
○ この工事は全て終わったのか。	○ 前年度は急いでやるべき場所を5カ所ぐらい選んで、優先して工事を実施した。まだ、優先順位は低いが必要なおところがあるので、順次、今年度以降に発注していこうと思っている。
○ そのときには、緊急性という要件が弱まるので、随意契約ではなく通常の入札手段をとるのか。	○ 今回は非常に緊急性があるということで随意契約をさせてもらったが、今後は入札を実施することを考えている。
○ だれがこのシステム設計をされたのか。	○ 当院の技術専門員や、契約した者以外の防犯関係の業者などに意見を聞きながら取りまとめた。
	【県立広島病院管財課長】